

令和3年度 経営発達支援計画 実績報告

当所の経営発達支援計画にかかる評価委員会を下記の通り開催いたしました。
評価委員3名の方へ事業内容および実績を報告し、評価と意見を頂きました。

日 時:令和4年6月17日(金)10:00~11:10

場 所:当所2階常議員会室

委 員:南山 賢悟様(中小企業診断士)
芝田 彩子様(日本政策金融公庫彦根支店支店長)
稲野 善行様(彦根市産業部次長兼地域経済振興課課長)

- ・セミナー開催が予定通り出来ており、受講者もしっかりと集客頂けている。創業者向けについては既存の取組ではニーズに合致出来ていない部分もあることから、新しい取組についても今後実施していくと良いと思う。
- ・現地型開催の展示会以外にも商談の機会を創出してもらいたい。また、海外展開については従前どおりの取組にならないよう、海外の情勢に対応・適応できるように JETRO から情報を収集して支援に繋がると良いと思う。
- ・金融機関や行政との情報交換の場を持ち、ゼロゼロ融資の返済が進む中での資金繰りについて状況を把握すると共に施策への反映にも繋がると良いと思う。
- ・一過性の事業ではなく、継続事業として改良を加えながら開催出来ていることが重要である。事業の実施に留まらず、考えて取組んでいる姿勢が良いと思う。
- ・支援施策が多岐に渡る中、制度改定も多く事業者へ伝える内容を取捨選択していくと良いと思う。
- ・他機関との連携については、主催者でないために開催をコントロール出来ない場合もあり、計画と実績の数値対比では評価をするのが難しい側面があり、事情を考慮する必要がある。
- ・今年度が最終年度となる経営発達支援計画に掲げた数値関係について、目標値として適正なのかも含めて次回申請時に検討をすると良いと思う。
- ・年度途中で計画内容が実施出来ているかを検証することにより、未実施の事業を年度内に実行できるよう努められたい。